



大分の青少年



大分県青少年健全育成大会



「大人が変われば子どもも変わる」県民運動



少年の主張大分県大会



中学生・高校生地域リーダー育成研修

INDEX

- P 2** 大分県青少年健全育成大会／青少年育成県民会議会長表彰（団体と個人）
- P 3** 第41回「少年の主張大分県大会」
- P 4** 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動／自死遺児救済援護事業のお知らせ
- P 5** 県民会議加盟団体の活動
（大分県子ども会育成会連絡協議会・大分県倫理法人会・大分県BBS連盟）
- P 6** 市町村民会議の取組
（大分市、日田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、日出町）
- P 8** 青少年をネットトラブルから守りましょう！
- P 10** 青少年を犯罪や被害から守りましょう！
- P 11** 第40回「大分県少年の船」運航事業／中学生・高校生地域リーダー育成研修
- P 12** 大分県からのお知らせ おおいた子ども・若者総合相談センター／大分県子ども・若者支援地域協議会

大分県青少年健全育成大会

大分県青少年育成県民会議では、子ども・若者育成支援強調月間の11月8日(金)に、「大分県青少年健全育成大会」を開催しました。当日は、本県民会議の会員団体や青少年団体関係者約140名が参加の下、青少年健全育成に功績のあった団体・個人の皆様に対し、会長である広瀬勝貞大分県知事より、表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。

また、本県民会議が主催する「少年の主張大分県大会」で最優秀賞を受賞した森田翔輝さん（竹田市直入中学校3年生）に発表していただきました。森田さんからは、自分が受けた「いじめ」に対し、自分を変えることで克服したことや、そこに至る過程には、辛い気持ちに寄り添ってくれた友達の存在があったことなど、聴く者の胸を打つ堂々とした発表ぶりに、会場からは大きな拍手が寄せられました。

後半には、中島 宏さん（NPO法人福岡市レクリエーション理事長・九州遊びの研究所長）を講師にお招きし、「子供を楽しくのばすには」と題した講演が行われました。生活体験、社会体験の第一人者である中島さんからは、子どもの視線に立つことや子どもに学ぶ姿勢の大切さについて講演をいただきました。参加者とともに子どもの心を引き付ける遊びの幾つかを実践する等、会場を巻き込んでの講演スタイルに、刺激を受けた、今後の活動の参考になった等の意見をいただくことができました。



令和元年度大分県青少年健全育成大会（於：大分市 トキハ会館）



NPO法人福岡市レクリエーション理事長
中島 宏 さんの講演

青少年育成県民会議会長表彰 受賞された皆さん

(敬称・略)

■青少年団体の部■

- 子ども和太鼓クラブ／由布はさま太鼓（由布市）
- 日出町なぎなたスポーツ少年団（日出町）
- 日本ボーイスカウト大分県連盟 津久見第一団ボーイスカウト隊（津久見市）

■保護育成者の部■

- 甲斐 和子
（佐伯市 大分県更生保護女性連盟佐伯地区会長）
- 渡邊 桂子
（大分市 ガールスカウト大分県連盟会員）
- 三坪 直
（中津市 大分県保護司会連合会長）



第41回

—今、中学生が訴えたいこと—

少年の主張

大分県大会



第41回を迎えた今年の大会には、県内21校から961作品の応募がありました。令和元年8月28日、日出町中央公民館で開催された大分県大会では、第一次・第二次審査を経て選ばれた10人の中学生がそれぞれ日常や学校生活の中で体験したことや感じたことなど、さまざまなテーマで発表しました。

大会発表者作品

※学年は大会当時

最優秀賞・共感賞

「自分らしく」

森田 翔輝 (竹田市立直入中学校3年)

優秀賞

「私の「自立」」

佐藤 緋南 (竹田市立久住中学校3年)

「ここでのことが全てじゃない」

瀧水蓮太郎 (玖珠町立くす星翔中学校3年)

優良賞・大分県教育長賞

「大切な人を大切に思う気持ち」

内田 颯真 (日出町立日出中学校3年)

優良賞

「笑顔をくれる人」

今口 美保 (竹田市立久住中学校2年)

「結」

箴嶋 歩武 (九重町立このえ緑陽中学校3年)

「感謝ができる人になりたい」

須摩思絵留 (宇佐市立駅川中学校3年)

「人生の選択について」

染矢 怜 (佐伯市立佐伯南中学校2年)

「歌を歌うということ」

舟越 彩乃 (宇佐市立駅川中学校3年)

「未来につながる一票」

山本 夏海 (杵築市立宗近中学校3年)

作品介绍 (最優秀賞)

「自分らしく」

竹田市立直入中学校 3年
森田 翔輝



「なあ、お前、悩み…ある？」

友だちは、ゲームの画面を見つめたまま、突然、聞いてきました。ゲームの音だけが響く部屋で、僕たちは長いこと黙ったままでした。

みなさんには、コンプレックスがありますか。字が下手なこと、徒競走で一番になれないこと。勉強が苦手なこと…。周りから見れば気にならないようなささいなことでも、他の人よりも自分は劣っていると思いこんでしまう「コンプレックス。」僕にも以前コンプレックスがありました。それは見た目のことです。小学校のころ、みんなよりずいぶん小さかった僕は、

「ちび」

「ちっさ」

「あ～ごめん見えなかったわ」

などと、からかわられていました。言い返すことも出来ず、笑いながら、心の中はずっともやもやしていました。

「また言われた…。なんでこんなにづらい思いをせんといいんの。好きで小さいわけじゃないのに…。」

からかわれるたびに、僕は自分のことがどんどん嫌いになっていきました。

楽しいはずの昼休みも、僕にとっては苦痛な時間でした。最初は僕も、グラウンドに出てサッカーをしていました。でも、パスをもらっても、僕より体の大きな友だちにすぐ取られてしまって、チームの役に立たない。僕には、パスがなくなり、僕は昼休みにサッカーをしなくなりました。昼休みになると学校の中をあてもなくぐるぐる歩き回って時間を潰す。そんな毎日が続いたある日、僕は学校をズル休みしました。家族に心配させたくないと思ったけれど、それよりも、「学校に行きたくない」という思いは強いものでした。その日の夕方、友だちが見舞いに来てくれました。見舞いといっても僕は病気でなくてもない。二人でゲームをしていると、友だちが聞いてきました。

「なあ、お前、悩み…ある？」

突然の問いかけに、心が見透かされてるような気がして、僕は驚きました。長い沈黙の後、僕は今までの思いを少しずつ打ち明けました。昼休みに一人ぼっちでいること。友だちからかわられて、隠れて泣いたこと。「大きくなりたい」その一心で、気持ちが悪くなるぐらい、いっぱいご飯を食べたこと。「僕はここです」とジャンプをしながら先生に返事をしたこと…。友だちは何も言わずに僕の話最後まで聞いてくれました。その優しさがとても嬉しくて、ありがたくて、僕の気持ちは、少し楽になりました。別れ際、友だちは、

「明日からまた一緒に遊ぼう」

と言ってくれました。友だちが帰ると、プロ野球中継が始まっていた。中継をみながら父が僕に言いました。

「この選手は、他の選手より上手くボールをさばくやろうが。人より上手いっつゆうことは、それだけきつい練習をしよるっつゆうことや。プロの人でも真剣ががんばらんと試合には出られんのぞ。」

いつもは素直に聞けないような言葉でも、その日は違いました。

「何かを変えるために努力している人はたくさんいる。だから僕も少しがんばってみよう」と素直に思えました。僕は、次の日から、少しだけ行動を変えました。速く走れるように、毎日坂ダッシュをしました。ボールをうまく取れるように、壁にあてたボールをとる練習を続けました。休み時間のサッカーも、素早く相手をかかわしたり、誰よりも先にボールに向かっていったりしました。すると、前よりも少しだけ足が速くなりました。今まで取れなかった相手からボールを取れました。ほんの少し自信がついて、いろいろな遊びができるようになりました。

「ちび」

と言われても、「それが自分」と胸をはれるようになりました。そして僕は、学校が、楽しいと感じられるようになりました。

あの日、「僕もがんばってみよう」と心が動いたことで、僕は大切なことに気づき、自分の居場所を見つけることができました。僕はみんなよりも小さいけれど、みんなのおかげで「小さいこと」はコンプレックスではなく、今の僕のチャームポイントに変わりました。

(九州ブロック代表として全国大会に出場し、奨励賞受賞)

「大人が変われば 子どもも変わる」県民運動

大分県青少年育成県民会議



大分県青少年育成県民会議と市町村県民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる県民運動」に取り組んでいます。特に、「県民総ぐるみあいさつ運動」に力を入れています。あいさつは人と人をつなげる大事な出会いの言葉です。あいさつ運動を通して子ども達の社会性を育むとともに、子ども達は地域で守り育てるという意識の高揚を図るため、毎月第3金曜日の「青少年の日」を中心に県下であいさつ運動を行っています。



令和元年度県民総ぐるみあいさつ運動での活動実績

- 青少年の非行防止・強調月間
7月19日(金) 県内各地
- おおいた教育の日
11月1日(金) 玖珠町メルサンホール
- 子供・若者育成支援強調月間
11月15日(金) 大分駅前他県内各地
県内の青少年団体において実施されています

県民会議加盟団体及び市町村民会議におかれては、毎月第3金曜日に参加団体においても自主的な取組を行っていただくとともに、活動状況を県民会議公式フェイスブックで広報しますので、画像データとコメント（100字以内）を事務局（oita.patrol@gmail.com）まで送付願います。

◆ 自死遺児救済援護事業のお知らせ ◆

大分県青少年育成県民会議では、自死遺児（自殺により親権者を失った児童生徒）を対象に入学・卒業祝い、修学旅行費補助等の援護活動を行っています。

対象は県内に居住し、県内の小・中学校又は支援学校の小・中学部に在籍する自死遺児です。亡くなった親権者の性別等に関係なく、また、生計を担う者であったかどうかは問いません。ただし、親権者の再婚や養子縁組等により新たに両親を得た者は除きます。

- 【援護(支給)内容】**
- 新規自死遺児激励品（対象：新規申請者）
 - 入学・卒業祝い（対象：小学1年、小学6年、中学3年）
 - 修学旅行助成金（対象：小学6年、中学2年）
 - 家族ふれあい旅行費用助成（小学5年）
 - 文化事業・スポーツ見学助成（全員）
 - クリスマスプレゼント（全員）

【支給実績】 令和元年度 32人（22世帯）

新規申請などのお問合せは、下記までご連絡ください。

【問合せ先】 大分県青少年育成県民会議事務局 TEL：097-506-3080

県民会議加盟団体の活動

大分県子ども会育成会連絡協議会

問い合わせ先 0977-66-9206 月～金 9:00～17:00

大分県子ども会育成会連絡協議会は、健全な子ども会育成を目的に昭和35年12月に市町村の子ども会組織が連合体を構成し創立しました。

活動として、市町村子連相互の振興と発展のための研修会や、ジュニア・リーダー（中高生子ども会員）の育成、子どもの参加する交流事業等を行っています。

特に地域の子ども会にジュニア・リーダーが参加し、行事の運営やサポートなどを行い感謝されています。

ジュニア・リーダーを育成・指導するシニア・リーダー（大学生や社会人会員）によりバックアップする体制も構築しており、活発な活動がされています。

子ども会は、0歳児から小学6年生までを子ども会員、中学生から高校生会員をジュニア・リーダー、大学生や社会人で構成するシニア・リーダーそして、保護者や育成者・指導者で構成されており、全国子ども会連合会の募集する安全共済会に加入し、世界に唯一無二の子ども会を通じ、青少年の健全育成に努めています。



芸能文化祭



ジュニアリーダー研修会

大分県倫理法人会

問い合わせ先 097-532-1890 月～金 9:00～16:00

大分県倫理法人会は大分県各地に単会・会員を持ち純粋倫理実践とその輪を広げる活動に取り組んでいる団体です。

純粋倫理の学習と実践によって自己変革し、職場に活力朝礼を導入し、会社全体を活性化させていく。それによって、経営のみならず、各家庭や地域社会にまで、健全な和を広げていこうという理念に基づいて活動しています。

活動の一環として青少年育成県民会議の「大人が変われば子供もかわる」あいさつ運動に取り組んでいます。

主な活動としては、十数年前から早朝7時過ぎから8時半ぐらいの間、日田地区（毎週火曜日・東部中学校前）中津地区（毎週水曜日・緑ヶ丘中学校）宇佐地区（毎週金曜日・駅川中学校）豊後高田市地区（毎週火曜日・高田中学校校門前）杵築地区（毎週水曜日・八坂小学校前）速水地区（毎月第1金曜日・工藤輪業横）別府地区（毎月第3水曜日・南小学校前）大分地区（毎週月曜日・下郡小学校前交差点）・豊後大野地区（毎月第1火曜日・三重駅前）と地域を拡大し通学路の交通安全見守りとあいさつ運動を展開しています。



大分地区あいさつ運動の様子

大分県BBS連盟

問い合わせ先 097-532-2053(大分保護観察所内) 月～金 8:30～17:15

BBS (Big Brothers and Sisters Movement) 運動は、終戦直後の混乱期、町にあふれる孤児に若者の力で何かが出来ないかと考えた京都の学生の投書が契機となって昭和22年2月22日「京都少年保護学生連盟」が生まれ、これが日本におけるBBS運動のスタートとなりました。

そして大分県BBS連盟は、1952年（昭和27年10月1日）に、当時の大分大学の学生によって組織されたのが始まりとなっています。以来68年、少年少女たちにとって、同世代の兄や姉のような存在として、一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむボランティア団体として問題や悩みを抱えた少年少女の良き相談相手となる「ともだち活動」を主に「非行防止活動」「自己研鑽活動」を行って来ました。

県内では、佐伯市・豊後大野市・大分市・別府市・中津市・日田市において地区会が組織され、それぞれの地域で交流や非行のない社会環境作りのための活動に取り組んでいます。



「こども・みらい・サポート事業」



会員研修（獅師山登山）

市町村民会議の取組

1 大分市 (大分市青少年健全育成連絡協議会)

大分市には、64の地区・校区青少年健全育成（連絡）協議会があり、「大人が変われば子どもも変わる」、「地域の子どもは地域で守り育てよう」との基本理念に立ち、豊かな体験活動の場の提供や有害環境の浄化活動、地域の安全確保に向けた「すこやか大分っ子サポートパトロール」等を実施し、子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指して様々な活動に取り組んでいます。

特に地区・校区ごとに取り組んでいる「一校区一特色活動」では、青少年と地域社会の人々や青少年相互の交流を深めるため、地域の諸団体と連携しながら、自然体験やスポーツ活動、環境美化活動など、豊かな体験や交流活動の場を子どもたちに提供しています。



大分市青少年健全育成連絡協議会研修会



すこやか大分っ子サポートパトロール

2 日田市 (日田市青少年問題協議会)

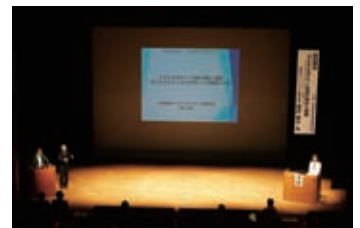
日田市青少年問題協議会は、関係機関の事務局による専門委員会、関係機関の長による委員会を開催し、各団体の事業報告等を行いながら連携を図っています。

また、青少年の健全育成に関する市民意識の一層の高揚のため、11月16日に第38回日田市青少年健全育成大会を開催し、小・中・高校生やPTA（育友会）代表、中学校支部教諭による実践発表と記念講演を行いました。発表では、あいさつ運動やボランティア活動、コミュニティー・スクールの取り組みが紹介され、日々の活動を継続する重要性や地域との連携の素晴らしさを再認識しました。

続く特別講演では、（公財）ハイパーネットワーク社会研究所 渡辺副所長より子どもたちのネット利用の現状と課題について講演があり、大人も子ども以上に学んでいくことの大切さを実感することができました。



中学生実践発表



特別講演

3 豊後高田市 (豊後高田市青少年健全育成市民会議)

豊後高田市青少年健全育成市民会議は、市内に2支部と9の協議会があり、各支部、協議会は小学校区単位で組織され、地域の自治会・老人クラブ・PTA等の地区内の諸団体が構成しています。各地域では子どもの登下校の見守りや、子どもからお年寄りまで参加できる行事を行い青少年の健全育成に努めています。

本部組織は、支部、地区協議会と連携を図り、健全育成大会や自然体験活動等の開催や夏季休暇には市内たまり場等のパトロールを警察署・補導連盟・教師・自治会の皆さんと合同で実施しています。また、「あいさつ運動の推進」や「家庭の日のポスター展」をとおして市民の気運を高めるとともに「大人が変われば、子どもも変わる」運動や各種行事等で健全育成の啓発活動に取り組んでいます。



家庭の日ポスター展



健全育成大会講演会



4 杵築市 (杵築市青少年健全育成協議会)

杵築市青少年健全育成協議会は市内14小学校区（旧小学校区含）ごとに組織された地区育成協議会を中心に、自治会や地域団体・PTAなどと協力しながら、あいさつ運動や地域内の定期的なパトロール、児童の登下校時の見守り、世代間交流事業（スポーツ大会等）など、地域住民の積極的な参加のもと、それぞれの地域の特色を活かした活動を行っています。

市全体の青少年健全育成協議会では、各地区育成会議が活発に活動できるよう支援するほか、次代の担い手である青少年の健全育成とよりよい環境づくりを目指すため、「社会を明るくする運動」では、市内高等学校のプラスバンド部が曲の演奏により、人権啓発推進の一役を担い、学校や警察、各種団体と連携し、夏祭りや花火大会時における特別補導（パトロール）では、子ども達にとって身近な存在である市内の小中学・高校の先生方や青少年健全育成団体スタッフの声かけにより非行の事前防止に繋げる取り組みを行います。



「社会を明るくする運動」



きつき天神祭り特別補導活動

5 豊後大野市 (豊後大野市青少年健全育成市民会議)

豊後大野市青少年健全育成市民会議では、児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させるため、毎年11月に「次代を担う『豊後大野つ子』を育てる市民のつどい」を開催しています。本年度は、最乗寺子ども太鼓の活動発表、子どもたちの俳句や短歌、家族で作った家族川柳などの優秀作品を披露し表彰する「ことばの森フェスタ」、子育てアドバイザーの熊丸みつ子さんによる「今を生きる子どもたちへ伝えたい～親として大人として地域として～」と題した講演会を実施しました。

また年2回の会議では、青少年に関わるそれぞれの立場で情報の共有や意見交換を行い、7つの支部においてもその地域の関係団体と連携し、あいさつ運動や防犯・交通安全活動を行っています。



最乗寺子ども太鼓の発表



家族川柳の発表

6 日出町 (日出町青少年健全育成町民会議)

日出町青少年健全育成町民会議においては、主に各地区子ども会育成会を中心に活動をおこなっています。内容については、子ども代表者会議・三世代ふれあいまつり・親子バドミントン大会・世代交流スポーツ大会などがあります。いずれも地域住民・異年齢の子ども達との交流を通じて地域の子どもの健全な育成を目的としております。大神地区においては、今年度より公民館を拠点に活動されている地域住民との交流の場と子ども達に公民館をより身近に感じてもらうことを目的に夏休み子ども教室を実施しております。簡単なモノづくりを通して、参加者へよい夏休みの思い出にもなったことと思います。



大神地区夏休み子ども教室(プログラミング)



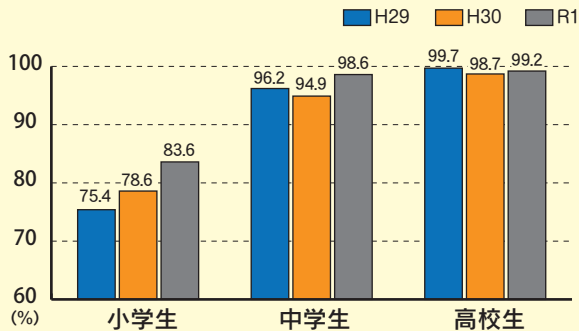
大神地区夏休み子ども教室(編み物)

📶 青少年をネットトラブルから守りましょう! 📶

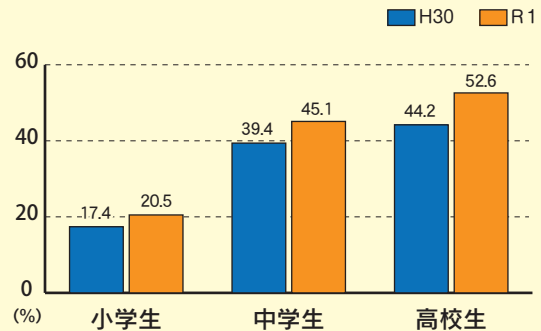
SNSなどを通じた見知らぬ相手とのやりとりにより、トラブルに遭う青少年が増えています。また、犯罪の被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になるリスクもあります。保護者の方は、積極的にフィルタリングやペアレンタルコントロール機能を活用して、インターネットの犯罪やトラブル、有害情報等から子どもを守りましょう。

また、子どものスマートフォンの利用について、インターネットやSNSのリスク、安心・安全な利用などを親子で話し合って家庭のルールを作りましょう。

令和元年度青少年のネット利用実態調査結果より



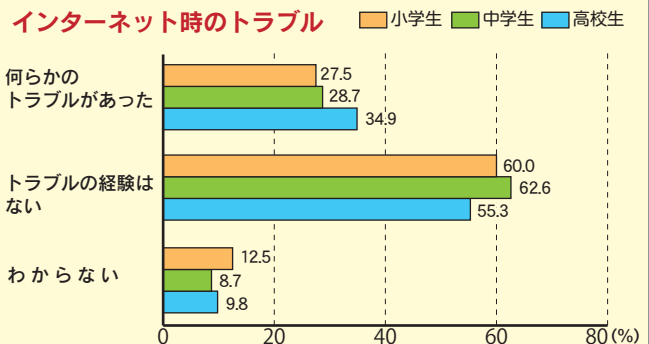
青少年のインターネット利用率は年々増加。小学生を含め、9割以上の子どもが利用しています。



2時間以上の利用が、小学生で約2割、中学生・高校生では約5割となっています。

項目（複数回答）	回答率（%）
テレビを見なくなった	28.0
使いすぎ・依存の傾向がある	26.3
友人関係が良好になった	24.6
目が悪くなった	22.7
成績が下がった	22.5
睡眠不足になった	22.5

インターネットによる生活への影響について、「友人関係が良好になった」という肯定的な回答もある一方で、「使いすぎ・依存の傾向がある」(26.3%)、「目が悪くなった」(22.5%)等が上位に上がっています。



約3割の子どもが、何らかのトラブルがあったと回答しています。

ご存知ですか？ 大人自身もネットに対する知識・理解を深めましょう。

■ スマホ時代の子育てについて 悩める保護者のためのQ & A

出典：内閣府ホームページ

子どもがスマートフォンやゲーム機を使うようになったら、どんなことに気をつければ良いでしょうか？大切なのは使い始めです。

詳細は、下記URL又はQRコードからホームページをご確認下さい。

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_use/leaflet.html



■ スマホ・ネット利用や情報モラルに関する講座について

LINE、ドコモ、KDDI、ソフトバンク等の携帯通信事業者が行う講座や県内で受講可能な講座の一覧を、県庁ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13255/>

問合せ先：大分県生活環境部私学振興・青少年課（電話 097-506-3075）



スマホ・インターネット安全安心利用フォーラム

令和元年10月17日、J:COM ホルトホール大分で、低年齢の子どもにスマホやタブレットなどを
 使わせる際に、大人が知っておきたいこと、心がけたいこと、やってあげたいことなどについて、イ
 ンターネット教育の専門家である尾花紀子さんにご講演いただきました。

インターネットと共に生活をしているとも言える子どもたちが 巻き込まれるトラブルは、年々増えています。



尾花紀子さん

デジタル機器が当たり前にある日々の中で、幼い子どものために大人ができる
 ことはたくさんあります。毎日の繰り返しが習慣にもなる時期、発達や成長も
 含め“子どもの心身を守る”使わせ方を工夫しましょう。まずは保護者が正しい
 使い方のお手本に！そして、家庭のルールをみんなで考えましょう。内緒や嘘
 は子どもの危険につながります。将来に向け、何でも話せる関係を築きましょう。
 デジタルが苦手でも大丈夫、子どもと一緒に一歩ずつ歩んでいきましょう。

ネット教育アナリスト。インターネット教育の専門家として、行政機関の各種委員等を多数務め
 ながら、全国各地で講演。青少年のネット利用に関する課題や悩み等への解決策を具体的かつわ
 かりやすくアドバイスしている。SNS相談に関するコンサルティングや助言など幅広く活動。

家族みんなで話し合い、“家庭のルール”を作しましょう

- ① 「いつまで」「どれくらい」等、子どもにもわかりやすいものに
 しましょう
- ② 作ったらルールをちゃんと守れるか、お試し期間を設け、守れた
 らほめてあげましょう。
- ③ ルールを守れない時は、3日間保護者がゲーム機を預かるなど
 のルールを設け、守る習慣を身につけさせましょう。

わが家のルール みんなでまもうね

- ① ごはんやおやつのかんと
 ねるまえはつかいせん
- ② ゲームであそぶときは、リビングで
 あそびます

れいわ 年 月 日
 みんなのサイン

出典：スマホ時代の子育て 内閣府

中学生・高校生の声

～中学生・高校生ICTカンファレンス～

中学生・高校生ICTカンファレンスには、県内から57名（高校16校48名、中学校3校9名）が参加。
 「人はなぜSNSを使うか？改めて考えるSNSの使い方」をテーマに、中学生や高校生が、学校の垣根を
 越えて、ネットやスマホ、ICTの安全・安心な利活用や、情報モラルについて話し合い、意見発表を行いま
 した。

SNSは、メリットもデメ
 リットもあるけれど、それ
 をうまく使いこなせれば、
 仕事や地域の活性化にも使
 えることがよくわかった。

今日のグループで
 の話し合いをして、
 SNSの利用につ
 いて、もう一度考
 え直していきたい。

全く自分の考えてい
 ない意見や、正反対
 の考えもあり、私も
 自分の考えを深める
 ことが出来た。

ICTカンファレンスに参加してみ
 てみんなが自分の意見を述べていて、自
 分も頑張ろうととても刺激を受けた。
 このカンファレンスのことを他の人
 にも教えてあげたい。



SNSの便利さも
 欠点も再確認でき
 ました。SNSを使い
 慣れてしまうと、
 つい基本的なこ
 とを忘れてしま
 いがちになるので、
 今日学んだこと
 を活かしていきたい。

青少年を**犯罪**や**被害**から守りましょう！

防ごう！青少年の自画撮り被害！

近年、青少年がだまされたり脅されたりして自分の裸等を撮影させられたうえ、メール等で送られる「自画撮り被害」が増加しています

【自画撮り被害児童数の推移】

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全国	289人	376人	480人	515人	541人
大分県	1人	4人	1人	3人	4人

青少年の健全な育成に関する条例の一部改正（平成31年2月1日施行）

第37条の2（児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止）

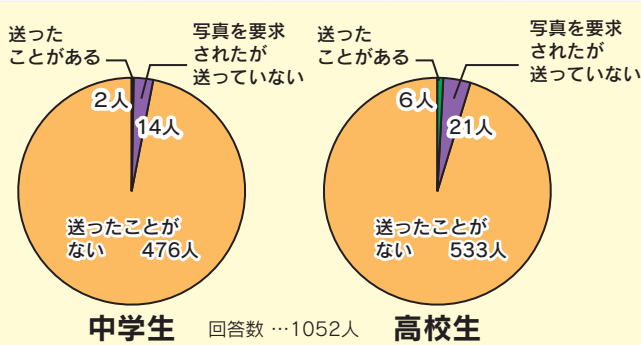
何人も、青少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。

- 一 青少年に拒まれたにもかかわらず、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。
- 二 青少年を威迫し、欺（あざむ）き、若しくは困惑させ、又は青少年に対し対償を供与し、若しくはその供与の約束をする方法により、当該青少年に児童ポルノ等の提供を行うように求めること。

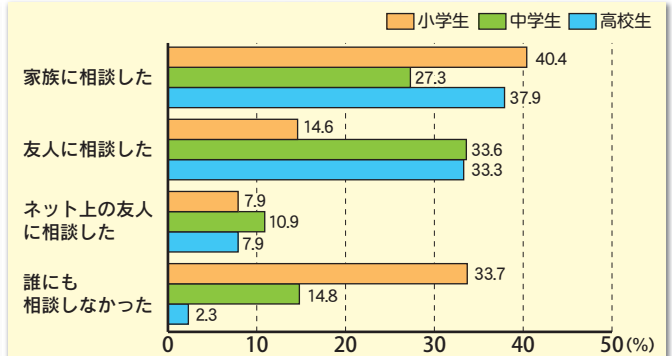


違反者には30万以下の罰金又は料金が科せられます。

令和元年度青少年のネット利用実態調査結果より



これまでに自分の裸や下着姿の写真を要求されたり、実際に他人に送ったことがある児童生徒が一定数認められます。

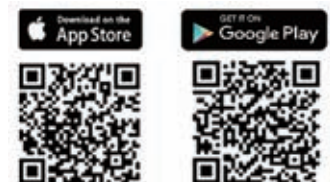


問題やトラブルがあった場合、「誰にも相談しなかった」「ネット上の友人に相談する」の回答が一定数認められます。

大分県全体で子どもの安全を守る！

令和元年5月、神奈川県川崎市で通学中の児童等が殺傷される痛ましい事件が発生しました。子ども達を犯罪や事故から守るために、県民総参加で子どもの安全対策に取り組みましょう！

まもめーる



- ① 見守りの目を増やす
- ② 大人が声をかける
- ③ すぐ逃げることを教える
- ④ 不審者情報の共有

アプリもあります！「まもめーる」で検索！

大分県警察が不審者情報などをタイムリーに提供している「まもめーる」に登録しましょう！

e@ansin-oita.jp に空メールを送信で登録！

詳細は、県庁ホームページに掲載しています。右記URLからホームページをご確認ください。



<https://www.pref.oita.jp/soshiki/13100/sisin-tugakuro.html>

第40回「大分県少年の船」運航事業

大分県では、青少年健全育成の一環として、夏休み期間中に「大分県少年の船」を運航しています。県内各地から集まった小学生団員が、中学生の副班長や高校生の班長とともに船内で4泊5日の集団生活を送るとともに、訪問地の沖縄で平和学習や自然体験、文化交流などの活動を行っています。今年度も7月20日（土）～24日（水）4泊5日の日程で行いました。はじめは緊張気味の団員も、世代や価値観が異なる仲間・スタッフと交流する中で、相手のことを考え、協力しあうことの大切さや、自らルールを決めて主体的に行動することの難しさなど多くのことを学び、すばらしい成長を見せてくれました。

日程

事前研修 7月 7日（日） 昭和電工ドーム大分
 本研修 7月20日（土）～24日（水） 沖縄県
 事後研修 11月 3日（日） 昭和電工ドーム大分

参加者

小学生（団員） 458名
 中学生（副班長） 40名
 高校生（班長） 40名
 成人（スタッフ） 60名
 計 598名



船内レクリエーション



大分の塔での慰霊



自然体験（西原きらきらビーチ）

また、今年度は40回の節目として、40周年記念大会を12月15日（日）に日本文理大学（大分市一木）において開催しました。青少年団体関係者や少年の船乗船経験者、一般参加者も含め243名もの参加がありました。当日は国立阿蘇青少年交流の家次長北見靖直さんを講師に招き「現代社会における青少年教育の必要性」と題し、基調講演をいただいたほかパネルディスカッションを行いました。会場では、これまで少年の船が果たしてきた役割や取組の成果、課題等が語られ、あらためて少年の船の意義や目的を確認するよい機会となりました。



基調講演



パネルディスカッション



展示内容

中学生・高校生地域リーダー育成研修

令和2年2月24日（月）に「中学生・高校生地域リーダー育成研修」を日出町で開催しました。本研修は、中学生・高校生の社会参画を促進するため、コミュニケーション力、企画力、協働力等地域で活動するための考え方やスキルを身につけることを目的に、大分県青少年育成県民会議が主催して実施したものです。

当日の研修には県内の中学校6校、高等学校13校から44名が参加し、4グループに分かれて農林水産業に従事する方々から仕事の内容や魅力、地域の課題など様々な角度で聞き取りをしました。その後、各班ごとにまとめを行い、発表、意見交換を行いました。今回の研修成果を参加者自らが暮らすまちにフィードバックし、各地域を担う人材へと成長してくれることを期待しています。



フィールドワーク（農業分野）



フィールドワーク（漁業分野）



グループ別発表会

社会的自立に悩みを抱える子ども・若者の気持ちに寄り添い応援します！

大分県では、不登校やひきこもり、ニートなど社会的自立に悩みを抱える子ども・若者やそのご家族を支援するため、総合相談窓口「おおいた子ども・若者総合相談センター」(青少年自立支援センター)を設置し、本人やご家族からの相談に応じるとともに、ニーズに応じて適切な支援機関を紹介、一緒に支援を行う等の取組を行っています。そのため、「大分県子ども・若者支援地域協議会」を設置し、国や県の関係機関や民間団体が連携して支援を行えるようネットワークの強化に取り組んでいます。

また、本センターは「大分県ひきこもり地域支援センター」の機能も有しており、年齢を問わず、ひきこもり状態にある方やご家族からの相談にも応じています。

まずは、お気軽にご相談いただくとともに、本センターの周知についてもご協力をお願いします。

おおいた子ども・若者総合相談センター

悩み相談全般を受け付けます！

(青少年自立支援センター)

相談は **無料** です。
悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください

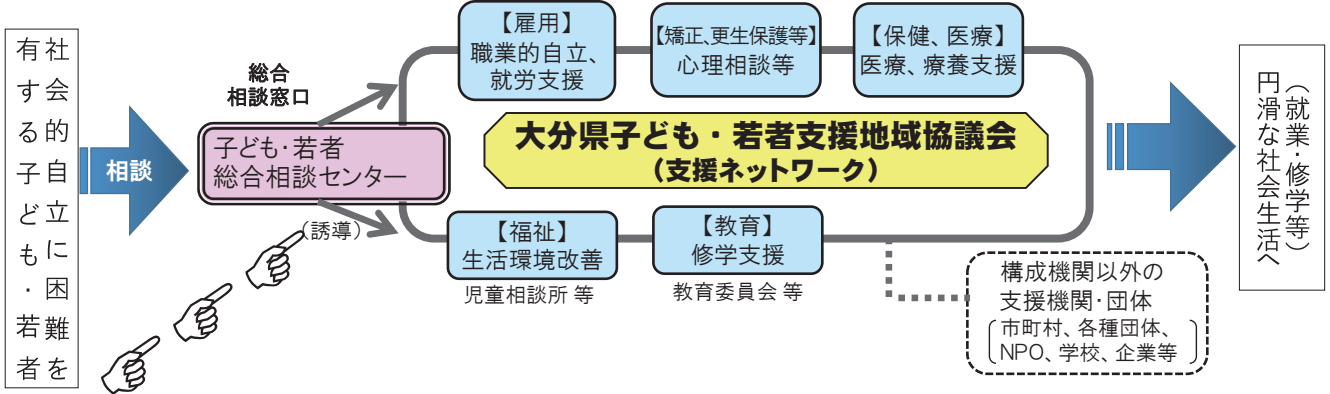
まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。
(通話料はご負担ください)

- 相談内容 ▶ 不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般
- 相談時間 ▶ 月曜日～土曜日 9:30～17:30
- 所在地 ▶ 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル
[★印の場所]



支援の流れ(イメージ)

地域若者サポートステーション等 保護観察所等 ところとからだの相談支援センター、保健所等



大分県子ども・若者支援地域協議会の構成機関・団体 (R2年3月現在)

国の機関	大分家庭裁判所／大分保護観察所／大分少年鑑別所／大分刑務所／中津少年学院／大分労働局／大分少年院
県の機関	福祉保健企画課／こども・家庭支援課／障害福祉課／中央児童相談所／中津児童相談所／ところとからだの相談支援センター／二豊学園／私学振興・青少年課／雇用労働政策課／教育庁学校安全・安心支援課／警察本部人身安全・少年課／保健所(6保健所)／教育センター／県立爽風館高等学校
公共相談機関	おおいた子ども・若者総合相談センター(大分県ひきこもり地域支援センター)／児童アフターケアセンターおおいた／ジョブカフェおおいた／大分県発達障がい者支援センター「イコール」／大分県地域生活定着支援センター／おおいた地域若者サポートステーション
民間団体	子ども・若者とその家族を支援する団体(13団体) おおいたステップの会／NPO法人グッドダイナフの会／NPO法人心の支援センター チャイルドラインおおいた／大分県保護司会連合会／ばすたの会(おおいた「非行」と向き合う親たちの会)／星の会(不登校・ひきこもりを考える親の会)／NPO法人共に生きる／NPO法人パワーウェブ日出／(公社)大分県社会福祉士会／ハートフルウェブ／社会福祉法人 清浄園 (一社)いのちと暮らしのつながり研究所 かたつむり学舎